

## 事務事業評価表（建設事業等）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	地域幹線道路整備促進事業			コード	141101	
2 担当部課	部等	建設水道部	課等	都市計画課	作成者	小口 周一
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち			
		政策	交通網の整備	施策	道路の整備	
		予算科目	地域幹線道路整備促進事業費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし	

## ●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	県道田中線、岡谷川岸線の道路整備事業		
目的	対象者	道路沿線住民及び道路利用者	
	意図	道路の拡幅、歩道の整備により、車、人の安全を確保する。	

5 事業の必要性	*事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由		
田中線、岡谷川岸線の2路線は、周辺市町村を結ぶ重要な路線である。しかし、幅員が狭く、歩道も十分に整備されていないことから、通行に支障をきたしており、早期の整備が望まれている。現在、県事業として拡幅改良事業を実施しているが、事業実施に際して県に協力し、早期完成を目指す必要がある。			

6 事業の全体計画	*各年度の取組計画			
予定全体事業費	528,000,000	円	事業期間	H16～H29年度
23年度まで	道路築造完了：田中線（丸山橋東）：岡谷川岸線（第2期事業（待張交差点まで））			
24年度	調査、測量、設計、用地買収：田中線（湖畔若宮地区） 調査、測量、設計：岡谷川岸線（第3期事業（川岸小学校まで））			
25年度	用地買収、補償、一部道路築造工事（湖畔若宮地区） 歩道橋詳細設計、地質ボーリング調査、測量調査、境界立会い：岡谷川岸線（第3期事業）			
26年度以降	用地買収、補償、道路築造工事（湖畔若宮地区） 物件調査、用地交渉、補償、道路築造：岡谷川岸線（第3期事業）			

7 事業の実施内容	*各年度の進捗状況		
23年度まで	県街路事業負担金（田中線・岡谷川岸線）		
24年度	県街路事業負担金（田中線・岡谷川岸線）		
25年度	県街路事業負担金（田中線・岡谷川岸線）		
前年度の課題への対応	長野県等関係機関に対して事業促進要望活動を行った。		

## 8 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度まで(累計)	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	343,158,261	11,247,058	29,925,000	50,900,000
経常経費	0	0	0	0
臨時的経費	343,158,261	11,247,058	29,925,000	50,900,000
* 臨時的経費の説明	地元負担金			
② 人件費		6,400,000	4,000,000	4,800,000
正規職員の人数(人)		0.80	0.50	0.60
③ 合計コスト(①+②)	343,158,261	17,647,058	33,925,000	55,700,000
前年度比			192.2%	164.2%
財源	343,158,261	8,247,058	7,025,000	10,700,000
一般財源				
内訳		9,400,000	26,900,000	45,000,000
特定財源				
* 特定財源の説明	都市計画事業債			

## ●事業の評価(CHECK)

### 9 事業の進捗状況

区分	23年度まで(累計)	24年度	25年度	26年度(予算)
進捗率				
直接事業費の執行率	65.0%	67.1%	72.8%	
その他の進捗率				
* その他の進捗率の説明				

事業をとりまく環境変化	今まで	(これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと) 長引く景気低迷の対策の一つとして公共土木事業予算も見直され、事業進捗が期待できるものの、継続的な予算確保は不明。
	今後	(26年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること) 岡谷川岸線第3期工事は、待張川から川岸小学校までの区間で事業を進めているが、その先線についての予算は未定である。

## ●改善の内容(ACTION)

### 10 今後の課題と対応策

今後の課題	(環境変化を考慮して事業を進めていく上で、26年度以降に課題になること) 岡谷川岸線第3期事業の早期完成に向けて、県、市、地権者、地元関係者と協議を進める。
	(上記の課題をふまえて26年度に実施する、具体的な対応方法) 岡谷川岸線第3期事業の進捗状況など、情報交換、打合せを進める。
課題への対応策	

## ●次年度の計画(PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---